

函館市生活支援・介護予防体制整備事業 業務処理計画書

(平成27年度6月1日より3月31日まで)

業務処理責任者 丸藤 競
(生活支援コーディネーター)

◆ 主な活動

- ① 生活支援コーディネーターの役割を、関係者や市民に知ってもらう。
- ② 1層レベルでの現状とニーズの把握（優先活動）
- ③ 1層レベルでのネットワークとマッチングの推進

月	業 務 内 容
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・事務所（活動拠点）開設作業（函館市地域交流まちづくりセンター貸事務ブース内） ・関係機関等への挨拶周り（社会福祉協議会・地域包括支援センター・町会連合会等） ・第1回協議会参加 連携のありかた、情報共有の検討等（今後の進め方など） ・関係情報の収集と既存資料の確認（収集・整理含む） ・ニーズ調査（現状分析）準備・・・実施方法の検討等 ・実践ブレーン結成 ・ネットワーク構築準備
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査関係（優先活動） ① 町会向けアンケート内容検討 → 送付 (各町会に、ニーズ調査対象地区を選定するためのアンケートを実施。地区選定後、ワークショップにより具体的なニーズを掘り起こしていく。) ② 各関係機関、関係者、地域等へのヒアリング ・関係情報の収集と既存資源の確認 → 既存活動の確認、地域に埋もれた資源の発掘等 ・ネットワーク構築活動（1層レベル） ・実践ブレーンと活動内容検討等
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査関係（優先活動） ① 町会向けアンケート回収 → 集計・整理・分析（随時、調査対象地域へ打診）

	<p>→ 選定地域でのワークショップ実施（お盆明け頃から）</p> <p>② 各関係機関、関係者、地域等へのヒアリング</p> <p>※ 明らかになったニーズ等、調査結果については、随時報告していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係情報の収集と既存資源の確認 → 既存活動の確認等 ・ネットワーク構築活動（1層レベル） ・実践ブレインと活動内容検討等
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査関係（優先活動） ① 選定地域でのワークショップ <ul style="list-style-type: none"> → 地域特性に応じ、随時対象地域等を拡大していく ② 各関係機関、関係者、地域等へのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ※ 明らかになったニーズ等、調査結果については、随時報告していく。 ・ボランティア養成講座（案）策定 → 対象、地域、プログラム内容等 ・関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ネットワーク構築活動（1層レベル） ・実践ブレインと活動内容検討
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査関係（優先活動） ① 選定地域でのワークショップ <ul style="list-style-type: none"> → 地域特性に応じ、随時対象地域等を拡大していく ② 各関係機関、関係者、地域等へのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ※ 明らかになったニーズ等、調査結果については、随時報告していく。 ※ 次年度以降の活動計画に反映できる事項の整理・提言等（随時） ・第2回協議会参加 <ul style="list-style-type: none"> → 連携促進、情報共有、ニーズ調査ワークショップについての意見交換等。 ・ボランティア養成講座開設準備 → 企画（案）策定（協議会に提出） ・1層レベルでのマッチングに関するワークショップ開催準備 ・関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ネットワーク構築活動（1層レベル） ・実践ブレインと活動内容検討
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズ調査関係（優先活動） ① 選定地域でのワークショップ実施 <ul style="list-style-type: none"> → 地域特性に応じ、随時対象地域等を拡大していく ② 各関係機関、関係者、地域等へのヒアリング

	<p>※ 明らかになったニーズ等、調査結果については、随時報告していく。</p> <p>※ 次年度以降の活動計画に反映できる事項の整理・提言等（随時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア養成講座開設準備 → 講師、会場の選定等 ・ 1層レベルでのマッチングに関するワークショップ開催 ・ 関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ ネットワーク構築活動（1層レベル） ・ 実践ブレインと活動内容検討
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ調査関係（優先活動） <ul style="list-style-type: none"> ① 選定地域でのワークショップ実施 <ul style="list-style-type: none"> → 地域特性に応じ、随時対象地域等を拡大していく ② 各関係機関、関係者、地域等へのヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ※ 明らかになったニーズ等、調査結果については、随時報告していく。 ※ 次年度以降の活動計画に反映できる事項の整理・提言等（随時） ・ ボランティア養成講座開設準備 → 具体的なカリキュラム策定準備 ・ 1層レベルでのマッチングに関するワークショップ開催 ・ 関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ ネットワーク構築活動（1層レベル） ・ 実践ブレインと活動内容検討
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ調査関係（優先活動） <ul style="list-style-type: none"> ① 選定地域でのワークショップのまとめ ② 各関係機関、関係者、地域等からのヒアリングのまとめ <ul style="list-style-type: none"> ※ 明らかになったニーズ等、調査結果については、随時報告していく。 ※ 次年度以降の活動計画に反映できる事項の整理・提言等（随時） ・ ボランティア養成講座開設準備 → カリキュラム決定 ・ 1層レベルでのマッチングに関するワークショップ開催 ・ 関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ ネットワーク構築活動（1層レベル） ・ 実践ブレインと活動内容検討
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニーズ調査関係（優先活動） <ul style="list-style-type: none"> ① ニーズ調査の結果に基づき、次年度の具体的事業計画策定 ② 各関係機関、関係者、地域等からのヒアリングに基づき、次年度の具体的事業計画策定 ・ 第3回 協議会

	<p>連携促進、情報共有、進捗状況報告等 ワークショップから見えてきたニーズについて意識共有 ネットワーク構築に向けた協議 次年度の事業計画提出 等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ボランティア養成講座開設準備 → 開催告知準備 ・ 1層レベルでのマッチングに関するワークショップ開催 ・ 関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ ネットワーク構築活動（1層レベル） ・ 実践ブレインと活動内容検討
<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成27年度総括および、次年度準備 ・ 2層コーディネーターとの意識共有 ・ ボランティア養成講座開講準備 ・ 1層レベルでのマッチングに関するワークショップ開催 ・ 関係情報の収集と既存資源の確認 → 地域ごとの活動把握 ・ ネットワーク構築活動（1層レベル） ・ 実践ブレインと活動内容検討

平成27年度 ニーズ調査の進め方

(考え方)

- ・ 1層レベル（全市的）にどのようなニーズがあるのかを把握する。
- ・ アンケートだけでは見えてこないニーズを的確に捉える。

■ 2本の柱

- ① ワークショップの活用
- ② ヒアリング

◇ ワークショップによるニーズ調査の流れ

1. 市内全町会に対しアンケートを実施

→ ニーズを探るためのアンケートではなく、ワークショップ実施地域を絞るためのアンケート。

※人口構成等データのな特徴

地理的な特徴

アンケートによる町会の声やワークショップへの協力度等を加味して判断

2. 実施地域に訪問して、ワークショップ開催。

3. ニーズの掘り出し

◇ヒアリング

※ 上記とは別に、関係機関、関係者等へは個別にヒアリングしていく。

◇注意点

※ ニーズ調査に関しては、教育大との連携により実施

（アンケート内容・表記の検討、内容分析、ワークショップ進行協力等）

※ ワークショップとヒアリングの結果を総合的させ、ニーズを明確にしていく。

※ ワークショップ、ヒアリングとも、継続的に実施していく。

※ 見えてきた結果・状況については随時報告し、次年度以降の事業計画へ反映・提言の材料となるようにしていく。